

岩手県重症心身障害児（者）を守る会

第111号 R1.7.15発行

TSK

会報 愛の手

編集・発行 岩手県重症心身障害児（者）を守る会

〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内

☎019-601-2255 FAX 019-601-2255 (共有)

E-mail mamoru2255@gmail.com

発行責任者 齊藤 勉



守る会の  
三原則

1.決して争ってはいけない 争いの中に弱いものの生きる道はない

1.親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加するものは党派を超えること

1.最も弱いものをひとりももれなく守る

## 「守る会」定期総会 報告

### 令和元年度 岩手県重症心身障害児（者）を守る会 総会



令和元年5月12日（日）ふれあいランド岩手に於いて、定時総会が開催されました。ご多忙にもかかわらず、多くのご来賓の出席も頂きました。

後藤理事の開会宣言、佐々木理事の三原則の唱和に続き、会長挨拶では、「…平成から令和に移り、取り巻く課題解消に向けて改めて「守る会」として責務を果たしたいと決意を強くしている。今年度の活動方針に基づき、地域の実情や要望を踏まえて、支援の充実に努めたい…」と述べられました。

来賓御挨拶では、県保健福祉部障がい保健福祉課 参事兼障害福祉総括課長の山崎淳氏が「岩手県障がい者プランに基づいて、重症心身障害児者及び医ケア児の連携体制の構築、身近な地域における支援の充実を方針として掲げ支援の充実に取り組んできたこと。具体的には、国立病院機構の開設、県としてもサービスを受けられるよう支援していきたいこと、看護師、相談専門支援員を対象に研修会を行い、超重症心身障害児支援の充実を図っていきたいこと、生活介護事業所の確保に引き続き努めたい事、令和元年から医療的ケア児コーディネーターを養成する研修を始めたこと等、今後



も関係機関と連携、協力をして進めてきたい事」などを含め、ご挨拶をされました。

議事では、平成30年度事業報告、収支決算・監査がなされ承認されました。続いて令和年度事業計画案・収支予算案、スローガンの審議がなされ、承認されました。

#### < ご来賓挨拶を頂いた方々 >

千田 圭二（独）国立病院機構岩手病院 院長

土肥 守（独）国立病院機構釜石病院 院長

伊東 宗行 みちのく療育園 施設長

田村 輝雄 全国重度心身障害児（者）を守る会

東北ブロック・ブロック長

会員出席者 40名

委任状 90名

## 平成30年度事業報告

平成30年4月より障害者総合支援法及び児童福祉法の改正法が施行され、この改正法により、障がい児福祉計画の策定義務、医療的ケア児等が適切な支援を受けられるよう保険・医療・福祉等の連携を促進する事等、重症心身障がい児者に対する支援体制の新たな取り組みが図られております。今後もこれら施策の取り組みを注視していく必要があります。

このような重症心身障がい児者を取り巻く施策が変革する中であって、岩手県支部としての長年に亘る重症心身障がい児者の支援活動により、平成31年4月から国立病院機構盛岡医療センターとして、短期入所を含めた重症心身障がい児者の療養介護施設が開設する事になりました。

盛岡圏域に重症心身障がい児者の地域医療支援拠点が確立されることにより、今後在宅の重症児者に対する支援のため医療センターの更なる充実に向けての活動が重要と考えます。この活動の実現における関係各位の多大なる、ご支援、ご理解に深く感謝申し上げます。

また、30年度も次のような活動も行っていました

- ・地域福祉活動事業の保護者研修会では、第1回目が5月総会終了後に国立病院機構盛岡病院菊池院長による、開設予定の重症児者療養介護病棟についての説明と「みんなで考えよう」として重症児者の生活の現状と課題等、日頃感じていることについて自由討議を行った。
- ・第2回目が9月に県央広域圏交流茶話会を北上市で、第3回目が10月に県南広域圏交流茶話会として一関市で行い、各地域の重症児者の保護者や関係者などと重症児者を取り巻く現状、課題などの情報収集・意見交換を行いました。
- ・7月に今年度から、それまでの「岩手県重症心身障がい児・者支援推進会議」に替わり「平成30年度第1回岩手県重症心身障がい児・者及び医療的ケア児・者支援推進会議」が開催され出席し、重症児・者及び医療的ケア児・者に係る実態調査の実施等について協議を行いました。
- ・県主催の「平成30年度障がい者関係団体との意見交換会」で守る会の要望書を提出し、要望について意見交換をしました。
- ・8月に盛岡市へ、12月に岩手県へ「重症心身障がい児・者に係る福祉の充実に関する要望書」を提出し、重症児者に対する支援対策について、意見交換を行い県及び市よりそれぞれ回答を頂いております。

## 平成30年度活動報告

## 1 会議等

平成30年度定時総会	5月13日 ふれあいランド岩手、出席40名・委任状95名
理事会(4回) 三役会議(3回)	4月15日、7月14日、9月17日、1月20日 6月16日、11月30日、2月23日

## 2 本部及び東北ブロック事業

第55回重症心身障害児者を守る会 全国大会	6月30日～7月1日 於:大阪市 参加者…6名 岩手病院1、釜石病院1、みちのく1、在宅3
全国支部長会議	6月24日、11月18日、2月3日 於:東京都(本部) 齊藤会長出席
第22回東北ブロック大会	9月1日～2日 於:山形県上山市 参加者…齊藤会長他7名 岩手病院3、釜石病院3、花巻病院2、
東北ブロック役員会	支部長会議:6月10日於:仙台市 8月31日於:上山市 3月4日於:仙台市 母親部会:10月17.18日於:一関市 在宅部会:6月30日 国立施設部会総会:5月19日 於:仙台 7名

## 3 行政、関係団体関連

岩手県障害者関係団体との意見交換会	9月8日 於:ふれあいランド岩手 齊藤会長出席 守る会より2項目について要望し、回答を得た
盛岡市へ要望事項を提出	8月30日 於:盛岡市役所 齊藤会長、木村他4名出席
岩手県へ要望事項を提出	7月27日 国立病院機構盛岡病院の件で要望書提出 12月17日 於:岩手県障がい保健福祉課、齊藤会長他5名 3項目について要望書提出
岩手県の療育を考える会	5月14日 於:ふれあいランド岩手 岩手県の療育を考える会総会・懇談会
岩手県障がい者社会参加推進会議	5月21日 齊藤会長出席
盛岡市障がい児教育推進会議	6月8日、2月12日 於:盛岡市 古館・小松原出席
盛岡市自立支援協議会	7月30日、3月25日 於:盛岡市 平出席
県立療育センター指定管理者選定委員会	2月4日 於:県庁 齊藤会長出席
岩手県社会福祉事業団・総合企画委員会	7月25日 於:盛岡市 齊藤会長出席
平成30年度第1回岩手県重症心身障害児(者)及び医療的ケア児者支援推進会議	7月25日 於:岩手県庁 齊藤会長出席
岩手県障害者自立支援協議会	3月19日 於:県福祉総合相談センター 藤村出席

## 4 主催事業

地域福祉活動事業 (助)岩手県福祉基金助成事業 第1回保護者研修会 第2回保護者研修会 在宅部会、母親部会合同 第3回保護者研修会 在宅部会、母親部会合同	5月13日 於:ふれあいランド岩手 参加者70名 「みんなで考えよう」 ・国立病院機構盛岡病院の概要等について 9月12日 於:北上市飯豊地区交流センター ・県央広域圏交流茶話会 参加者19名 10月17日 於:国立岩手病院 ・県南広域圏交流茶話会 参加者18名
会報発行 (助)岩手県福祉基金助成事業 (4回発行)	会報「愛の手」発行 4月15日(106号) 7月15日(107号) 10月15日(108号) 2月15日(109号)

## 5 その他

○病院施設見学	10月17日～18日 於:一関市 参加者7名 ・病院見学、病院との懇談
---------	-------------------------------------

1994年2月28日第3種郵便物認可

2019年7月15日発行

TSK2262号

平成30年度 一般会計収支決算

収入

項目	予算額	決算額	差異	摘要
正会員会費	2,688,000	2,781,756	93,756	238名 免除5 途中入会10 未納2
賛助会費	100,000	198,000	98,000	
寄付金	150,000	158,000	8,000	
助成金	300,000	300,000	0	岩手福祉基金
参加費	0	0	0	
戻入金	0	-16,756	△ 16756	会費返金
雑収入	5	9	4	利息
繰越金	332,165	332,075	△ 90	
合計	3,570,170	3,753,084	182,914	

支出

項目	予算額	決算額	差異	摘要
本部会費	1,881,600	1,872,500	△ 9100	238名分
事務費	520,000	506,245	△ 13755	
通信費	120,000	100,266	△ 19734	
旅費・会議費	200,000	139,481	△ 60519	
地域福祉活動事業	125,000	110,967	△ 14033	
会報発行事業	265,000	261,881	△ 3119	
親子教室費	20,000	20,000	0	
地区活動費	50,000	50,000	0	
部会活動費	40,000	40,000	0	
入居料	130,000	119,474	△ 10526	
負担金	150,000	146,000	△ 4000	
予備費	68,570	0	△ 68750	
合計	3,570,170	3,366,814	203,356	

残高 総収入－総支出＝繰越金 386,270

3753084-3366814=386270

平成30年度 特別会計収支決算

項目	前年度決算額	前年度決算額	差異	摘要
収入繰越金	379859	379861	61	
収入利息	2	2	0	
支出繰り出し	0	0	0	
合計	379861	379863	61	

## 令和元年度 活動方針

平成30年度厚生労働省において、障害児入所施設の在り方検討会が設置され、入所施設の在り方、機能などが議論される他、重症児・者にとっては児者一貫の療育体制のもと日中活動の在り方など幅広く検討が行われます。

また、全体の6割を占めると言われている在宅の重症心身障がい児・者に対する福祉サービスについては、その量が十分であるとは言いがたい状況です。このことから守る会が一丸となり、医療的ケア児等を受け入れる体制を促進するため、医療的ケア児等コーディネーターの配置や医療的ケア児等への支援者の養成を行うなど医療的ケア児等に対する総合的な支援の促進など福祉施策の拡充に向けた運動を進め、在宅重症心身障がい児・者と家族への一層の支援に努めなければならないと思います。

一方、地方においては障がい福祉サービスの実施主体が市町村に移行され、地域における親の会活動がそのまま地域の障がい福祉施策に直結しており、支部・分会等における各地方自治体に対する働きかけ如何が重症心身障がい児・者への理解を深める事につながってきます。

このような障がい児者を取り巻く情勢が変革する中での今年度の活動計画として次のような活動を行う事とします。

1. 重症児者やその保護者が不安を感じないように、諸情勢についての迅速な 情報提供や新たな課題等に適切に対応を行います。
2. 在宅の重症児者に対する福祉サービスについては、まだ不十分であり、福祉施策の拡充等の運動を進め、在宅重症児者と家族への支援を行う。
3. 障がい福祉サービスの実施主体が市町村であることを踏まえ、支部、分会等による各自治体に対する働きかけを積極的に行います。
4. 県内各地域の重症児者の現状、課題等の情報収集・意見交換等を充実するための、地域交流茶話会の開催をより細やかに行い、重症児者への理解を深める活動を積極的に展開し、未会員への新規加入の働きかけや新たな分会の設立に結びつけたい。

## 令和元年度スローガン

1. 県や市町村の障がい者福祉施策に重症心身障害児者への配慮を！
2. 災害時に重症児者が守られる福祉避難所の設置を！
3. (独)国立病院機構及び民間重症児施設入所児者の療育内容の充実を！
  - (1)充実した人生を送るために生涯教育の機会を！
4. 在宅重症児者の地域での生活支援体制の充実を！
  - (1)各地域でのショートステイ、デイサービス等の拡充を！
  - (2)卒業後の日中活動の充実を！
5. 岩手県立療育センターの児・者一貫療育制度の整備を！
6. 重症心身障がい児者の特性に配慮し、それぞれの可能性を引き出す教育を！

## 令和元年度事業計画

事業名	実施日	内 容
地域福祉活動事業 〔福祉基金助成対象事業〕	第1回 5/12 第2回 9月 (予定) 第3回 10月 (予定) 第4回 1月 (予定)	重度心身障害児(者)や医療的ケアを必要とする重症児者の介護者が、外出や体調不良等で介護が困難になった際に必要な短期入所、レスパイト入院等、在宅生活に必要な支援について保護者、福祉サービス事業所、相談専門支援員、医療型障害児入所施設、重症児者の入院受け入れ病院、などがそれぞれの立場で実情や問題点を発言し、会場の皆さんと共に懇談します。  第2回、3回―県北地区、沿岸地区の予定 第4回―盛岡、県央地区の予定
会報発行事業 〔福祉基金助成対象事業〕	年3回	会報「愛の手」を、会員・関係機関に配布し、情報の共有に努める。各部の行事の様子、新会員紹介などを掲載していく。  4月 7月 12月
本部助成事業		
全国大会	6月8日～ 6月9日	全国重症心身障害児(者)を守る会 創立55周年記念大会 会場：東京都 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール
東北ブロック大会 ・研修会	8月30日 ～31日	第23回東北ブロック大会・研修会 会場：福島県石川郡 母畑温泉「八幡屋」
行政への要望	随時	重症児者及び超重症児の医療・福祉・教育施策充実のための要望や懇談を行う。
本部との連携	随時	全国守る会(本部)支部としての活動を充実させる。
諸会議	随時	○定期総会、理事会、三役会議、その他必要に応じた会議を開催し、目的達成のための事業執行、組織強化に努める。  ○専門部会議 在宅部会、母親部会、国立施設部会、重症児施設部会
その他	随時	関係団体の活動に参加、協力する。  特に、「岩手県の療育を考える会」との連携を強化。

## 令和元年度 一般会計収支予算

## 収入

項目	予算額	前年度決算額	差異	摘要
正会員会費	2,748,000	2,781,756	33,756	229名×1万2千(免除5名)
賛助会費	100,000	198,000	98,000	
寄付金	150,000	158,000	8,000	国立病院親の会×2 他
助成金	300,000	300,000	0	岩手福祉基金より
参加費	0	0	0	
戻入金	0	-16,756	△16756	
雑収入	8	9	1	預金利息
繰越金	386,270	332,075	△54195	
合計	3,684,278	3,753,084	68,806	

## 支出

項目	予算額	前年度決算額	差異	摘要
本部会費	1,923,600	1,872,500	51,100	229人×8,400円
事務費	520,000	506,245	13,755	事務用品、事務局手当、他
通信費	120,000	100,266	19,734	電話、インターネット、FAX、切手
旅費・会議費	200,000	139,481	60,519	理事会、各会議等旅費、会議室使用料等
地域福祉活動事業	125,000	110,967	14,033	研修会4回
会報発行事業	270,000	261,881	8,119	500部×3回
親子教室費	0	20,000	△20000	幼児教室教材費等
地区活動費	50,000	50,000	0	地区活動補助(気仙、釜石、ほけっこの会、盛岡、二戸)
部会活動費	40,000	40,000	0	母親部会、在宅部会
施設活動費	20,000	0	20,000	各施設活動費補助
入居料	130,000	119,474	10,526	ふれあいランド入居費・光熱費・機器負担金等
負担金	150,000	146,000	4,000	東北ブロック、療育を考える会負担金
予備費	135,678	0	135,678	
合計	3,684,278	3,366,814	317,464	

## 令和元年度特別会計収支予算

項目	予算額	前年度決算額	差異	摘要
収入繰越金	379,861	379,859	2	
収入利息	2	2	0	
支出繰り出し	0	0	0	
合計	379,863	379,861	2	

令和元年度岩手県福祉基金助成事業

## 重症心身障害児(者)の地域での暮らしを考える懇談会報告



## 【趣旨説明】盛岡圏域・石川副会長

在宅・母親部会、各圏域の茶話会の活動から見えてきた問題解決に向けて、今回の懇談会を開催することとなった経緯、趣旨説明、開催の際に行ったアンケートの説明。

## 【現状と問題点】各圏域保護者より

どの圏域からも在宅での生活は・情報が入らない・集まって話すことができない・短期入所が無い・レスパイト入院の病院がない・移動も困難なため在宅でのレスパイト(休む、眠る時間の確保)が欲しい等、切実な声が会場の皆さんに響いていました。

- ・県北カシオペア分会・百鳥理事
- ・沿岸南部(大船渡・釜石)・大関理事
- ・県央(花巻・北上)・ぼっぽの会吉田会長
- ・県南(奥州・一関)・千葉会員(ぼけっとの会代表)
- ・盛岡圏域分会・木村会長・澤口会員

在宅の中、子どもから目を離すことができない厳しい状況の中でも、SNS等で情報を共有し繋がりがあ、この会場に来て頂いた家族の皆さんに感謝致します。

総合司会 村上理事 主催者挨拶 齊藤会長  
司会 岩手県の療育を考える会 守る会  
伊東会長 藤村副会長

## 学び【情報提供】

岩手県保健福祉部 佐藤祐基主任  
もりおか往診ホームケアクリニック  
浅沼拓雄医療ソーシャルワーカーから

- ・重症心身障害の福祉サービスについて
- ・在宅での訪問診療・レスパイト入院・緊急時の連携機関について。

## 【短期入所受入の実態】

## 《医療型》

・県立療育センター 品川由美子相談支援専門員

多くの施設で短期入所受入が厳しい(空床・マンパワー・重度化等)との実態の中でも、盛岡医療センター・みちのく療育園の今後の増床情報がありました。

- ・みちのく療育園 伊東宗行施設長
- ・盛岡医療センター 佐々木美香副院長  
小川直也児童指導員
- ・国立岩手病院 箱石悟療育指導室長
- ・国立釜石病院 佐川修療育指導室長

## 《福祉型》

- ・いきいき牧場カラフル 山本円施設長心得
- ・しいのみホーム 井上純司相談支援専門員
- ・ヒソプ工房 阿部孝司所長
- ・平泉 居宅介護支援センターやすらぎ  
千葉加代子 主任

重症心身障害だけではなく、障害全般の短期入所・グループホームが足りておらず、医ケアについてもマンパワーの確保が大きな問題である。



**【医療・福祉を繋げていくためには】**

- ・県立中央病院 寺口恵 看護師
- ・チーム盛岡 板垣園子所長
- ・盛岡障害者自立支援プラザ 猿舘寛所長

現在、皆さんはまさに医療・福祉制度を使って在宅生活を送っている。その医療、福祉それぞれをどう繋げていくか当事者を真ん中に行政と共に作り上げていかなければならない。

アンケートを取りながら、障害福祉計画のもと支援体制を整備していきたい。それぞれの地域の各市町村の自立支援協議会へ働きかけが重要。

**【行政から】**

- ・岩手県保健福祉部 山崎淳 参事兼総括課長
- ・盛岡市障がい福祉課 野中隆課長
- ・矢巾町福祉子ども課 浅沼圭美課長

**【議員から】**

- 岩手県議会議員 臼澤勉
- 前岩手県議会議員 福井誠司

守る会と一緒に私たちが成長していきたいと思います。



**【全国の動向】**

- 守る会
- 田村輝雄ブロック長

この研修会が岩手県から全国へより大きな力になる事と思います。

**【問題点の総括】**

- ・岩手県の療育を考える会 伊東会長

- 1・短期入所・日中一時が必要な時に使えない
- 2・在宅レスパイトは公の機関での政策により、公の機関で行われてほしい(議員の活躍を期待したい)
- 3・福祉・医療・教育の連携(繋がる)
- 4・いざという時のための緊急時の対応が大切(災害時等)

**【総合司会より】**

- 守る会 村上理事

多岐にわたっていた研修内容でした。このように多くの皆様からのご支援を頂いていることへの感謝の気持ちを忘れないように。



**【研修会を終えて】**

時間設定が短く、参加された皆様・会員からの討議ができず大変申し訳ありませんでした。皆様がこの研修会に参加し抱いた思いや意見は、是非これからの支部活動(各部会・各圏域分会・茶話会等)の中で声に出し討議して頂ければと思います。総勢140名の皆様に御参加頂き誠に感謝申し上げます。これからも守る会へのご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

## ご来賓の方々

役職名	氏名
岩手県保健福祉部障がい保健福祉課参事兼障害福祉課総括課長	山崎 淳 様
岩手県教育委員会事務局学校教育課 特別支援教育課長	高橋 縁 様
盛岡市保健福祉部障がい福祉課 障がい福祉課長	野中 隆 様
矢巾町福祉・子ども課 課長	浅沼 圭美 様
(独)国立病院機構岩手病院 院長	千田 圭二 様
(独)国立病院機構釜石病院 院長	土肥 守 様
みちのく療育園 施設長	伊東 宗行 様
子どもは未来もりおかこどもクリニック 院長	米沢 俊一 様
社会福祉法人 岩手ひだまり会 相談支援事業所 所長	藤原 淳哉 様
みちのく療育園 事務長	伊藤 仁 様
みちのく療育園 看護部長兼療育部長	山田 英子 様
(独)国立病院機構岩手病院 療育指導室長	箱石 悟 様
(独)国立病院機構釜石病院 療育指導室長	佐川 修 様
(独)国立病院機構釜石病院 児童指導員	森岡 万琴 様
(独)国立病院機構花巻病院 保育士	渡邊 恵子 様
親子教室 講師	木村 純子 様
全国重症心身障害児(者)を守る会東北ブロック・ブロック長	田村 輝雄 様



## 令和元年度 岩手県重症心身障害児(者)を守る会 新役員名簿

	役職名	氏名	所属
1	会長	齊藤 勉	国立釜石病院
2	副会長	村上 芳邦	〃
3	〃	外川 安昭	国立岩手病院
4	〃	藤村 ゆみ子	在宅
5	〃	遠藤 和彦	みちのく療育園
6	理事	田村 輝雄	東北ブロック長
7	〃	小田島アキ子	国立岩手病院
8	〃	田鎖 利耕	国立岩手病院
9	〃	久保 儀真	国立釜石病院
10	〃	浅沼 久美子	国立花巻病院
11	〃	鎌田 哲子	〃
12	〃	後藤 二三雄	みちのく療育園
13	〃	和泉 勝彦	〃
14	〃	菊池 暢久	〃
15	〃	大関 香織	在宅
16	〃	伊藤 恵美	〃
17	〃	木村 直子	〃
18	〃	佐々木 重子	〃
19	〃	百鳥 陽子	〃
20	監事	千葉 カツ子	
21	〃	平 由美子	

鈴木正志さん、菊池俊二さんが都合によりお辞めになりました。今までありがとうございました。

新役員には、小田島さん、大関さんがなりました。宜しくお願いします。

## 第23回 重症心身障害児者を守る 東北ブロック大会・研修会福島大会

期 日：令和元年8月30日（金）13：30～

8月31日（土）11：30

会 場：石川町母畑温泉「八幡屋」 〒963-7831 福島県石川郡石川町母畑温泉

Tel.0247-26-3131 Fax0247-26-1220

テ ー マ：「この子どもたちの未来のために」

目 的：「最も弱いものをひとりももれなく守る」のもとにすべての人にやさしい平和で明るい  
福祉社会を造る

基調講演：仮題「巡回療育相談から見てきたもの」

東京都立東大和療育センター 平山恒徳小児科長

費 用：参加費 4.000 円 宿泊費 1.2000 円（交流会費含む）

（「八幡屋」について

旅行添乗員が選ぶ宿で石川県の「加賀屋」を抜いたこともある、おもてなしをはじめ、宿泊施設、食事、温泉いずれも誇れるものです。

大会は、子どもたちのQOLの向上はもちろん他県の活動から学ぶ年に一度の貴重な機会ですが、ひと時の休息も必要であると思います。一人でも多くの方の参加をお待ちしています。—福島「守る会」事務局長 富岡氏の一文より抜粋）



### 重度心身障害者棟が開所

国立病院機構 盛岡医療センター 40床、来年短期入所も



6月18日（火）盛岡医療センターは、長期的な医療的ケアや生活介護が必要な18歳以上の重度心身障害児者を受け入れる「さくら病棟」（40床）を開棟した。もりおか子ども病院入院部門の閉鎖で盛岡広域の施設が不足しており、待望の開棟となった。来年にも介護者のニーズが高い短期入所の受け入れを開始する方向だ。（2019/6/19(水) 岩手日報より抜粋）

本会からは、齊藤会長、藤村副会長が出席しました。また、齊藤会長は、来賓として挨拶もされました。



## 編集後記

5、6月は、総会のシーズンです。総会は、団体の意思を決める会合ですから大切です。私たちの守る会の総会は、5月12日にたくさんのご来賓の方々、そして、会員の皆様のご出席を賜り、終了しました。

そして、午後からの研修会。各々の段取りに取り組んだ方に感謝します。

私たちの重症心身障害児（者）を守る会の活動も前進しています。

Y/S